



2017 春季生活闘争ニュース

2017. 3. 20 第3号 発行責任者 連合北海道組織労働局

格差是正と働き方改革の実現を！

連合北海道は全道各地で街宣行動を展開、月例給にこだわる「底上げ・底支え」、長時間労働の是正とワークライフバランスの確立を求める春季生活闘争への支援を道民に訴えた。

3月17日早朝、JR 札幌駅前で行われた街頭演説に立った連合北海道の出村会長は、今次春季生活闘争の重点について、3つの格差是正と4%、10500円、時給37円以上アップを求める「底上げ春闘」であり、道内は中小企業に働く労働者も多く、その成果をすべての働く仲間を広げていくことが求められていると強調し、要求から交渉、妥結まで頑張っている中小企業労組が増えており、市民の皆様の支援をお願いすると訴えた。

また、「働き方改革」に触れ、現在事実上の青天井となっている時間外労働の上限規制について、罰則付の上限規制導入は意義あるものとしつつ、職場段階で安心して働くことのできる環境を作ることが重要で、長時間労働をなくし仕事と生活が両立できる社会をめざそうと呼びかけた。



出村連合北海道会長

3月15日は札幌駅西口の紀伊國書店前で連合石狩地協と合同で街宣活動を実施。連合北海道の杉山事務局長は、大



企業と中小企業、男女間、正規と非正規労働者の3つの格差を是正し、デフレからの脱却、経済の自律的成長をめざそうと市民に訴えた。

長時間労働是正、同一労働同一賃金等の働き方改革について、今後示される実行計画や労政審でしっかり要求、議論していく、高プロや裁量労働制の緩和にはあくまで反対していくと述べるとともに、実現には政治の力も必要として民進党議員への支援も訴えた。

続いて石狩地協の太田会長は、日本の労働時間が2000時間超えと世界的に見ても高止まりしており毎年過労自殺等で約200人が犠牲になっていると指摘し、事実上無制限となっている労働時間の罰則つき上限規制が重要で、繁忙期時間が議論されているがあくまで原則に近づける努力が必要、インターバル規制など働く者の視点に立って働きやすい社会を作ろうと訴えた。



太田石狩地協会長

全道各地でも、各地協が積極的に街宣行動を展開している。3月15日には先行組合で回答が示され、UA ゼンセンのホームマックス、マックスバリュ、イオン北海道やフード連合で昨年を上回る内容で妥結した（妥結情報参照）。

まだ妥結数が少なく統計的な傾向は示せないが、パート時給や非正規一時金などで昨年を上回る結果も出ており、今後の頑張りが重要。連合北海道に結集し粘り強い闘いをすすめよう！



民進党の神谷 10 区総支部代表が応援に駆けつけた留萌地協の街宣行動